

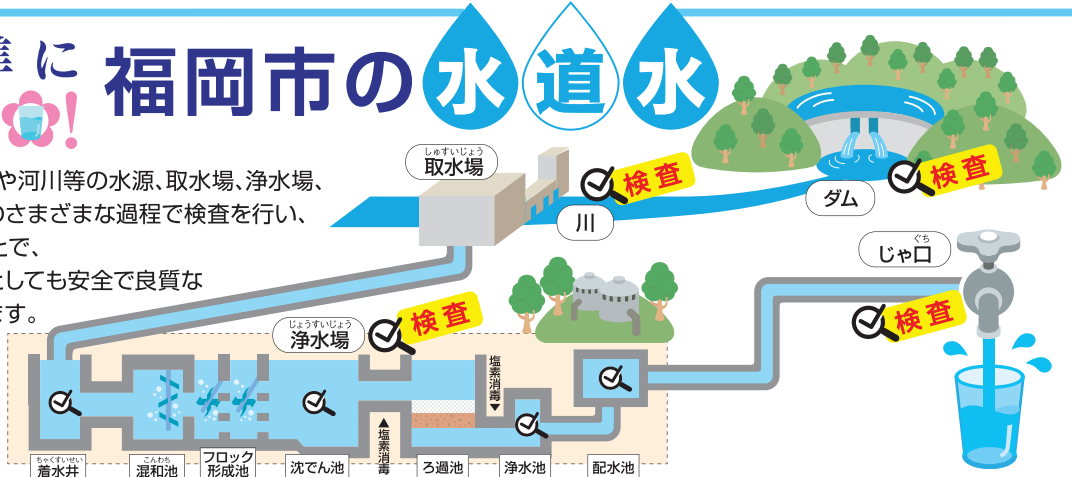


水質基準に 福岡市の水道水 はなまる!

福岡市水道局では、ダムや河川等の水源、取水場、浄水場、じゃ口の水に至るまでのさまざまな過程で検査を行い、水質管理を徹底することで、飲用としても生活用水としても安全で良質な水道水をお届けしています。



水道局マスコット
フクちゃん



安全で良質な水道水をお届けするための 水質検査

水質検査には、細菌検査、官能検査、理化学検査や機器分析等があり、水道水においては水質基準51項目の検査をはじめ、200項目以上の検査を行うなど、さまざまな検査を行っています。特に福岡市水道局では水道GLP(水道水質検査優良試験所規範)の認定を取得しており、検査の精度と信頼性が確保されています。詳しい検査結果は、水道局のホームページで公開していますので、ご覧ください。

細菌検査

水の中に存在する細菌類について検査します。国が定めた検査方法に従い、細菌を数えたり、発色させることで確認しています。水道水は塩素消毒を行うことで、安全な水がじゃ口に届くまで細菌などが繁殖するのを防いでいます。



官能検査

水を温めてから、においと味に異常がないか人の感覚を使って検査しています。毎日、2人以上で確認しており、変化があった時には、いち早く異変に気づくことができます。



ガスクロマトグラフ質量分析装置

かび臭物質などの有機化合物や農薬等の測定に使用しています。



みんなの家に安全な水道水が届くようにたくさんの検査が行われているんだね。



理化学検査・機器分析

色度・濁度など、その日のうちに結果が出る検査と有機化合物や金属類等、精密な分析装置で数日かけて行う検査があります。これらの分析装置は高感度なので、例えばかび臭物質に関しては非常に小さい値(一兆分の1)まで検出できます。

【水道水質センター】 電話092-512-7377 ファクス092-551-9299 メール suishitu.WB@city.fukuoka.lg.jp

当たり前の「今」を守るために節水にご協力ください!

福岡市民全員が1人1日バケツ1杯(10L入り)の節水をすると、1年間に約570万³mの水を節約することができます。

これは、南畑ダム満水時の貯水量に匹敵する水量なのです。

地形的に水資源に恵まれず水源を市外に大きく依存している福岡市にとって、市民の皆さんひとりひとりの水を大切に使う心がけは、「市民ダム」となって貴重な水資源となっています。

お風呂

◇残り湯の半分を洗濯や散水に再利用すると...



1回の節水
90L

はみがき

◇じゃ口はこまめに開け閉めをして、1分間、普段より水を出さなくすると...



1回の節水
12L

